ソフトウェアマニュアル

コンパクト PCI CPU ボード

aPCI-8011

CPCI-069-041104

目 次

1.はじめに	. 2
2. 動作環境	. 2
3.ファイル一覧	3
4.ドライバ	. 4
4 - 1 . Windowsへのインストール	4
4 - 1 - 1 . Windows2000 へのインストール	. 4
4 - 1 - 2 . WindowsXPへのインストール	12
4 - 2 . アンインストール	21
4 - 2 - 1 . Windows2000 からのアンインストール	21
4 - 2 - 2 . WindowsXPからのアンインストール	24
5.サンプルソース	27
6 . API仕様	28
6 - 1.概要	28
6 - 2 . プログラム構成	28
6 - 3 . APIリファレンス	29
6 - 3 - 1 . Apci8011Create	29
6 - 3 - 2 . Apci8011Close	30
6 - 3 - 3 . Apci8011GetVersion	31
6 - 3 - 4 . Apci8011EnableWatchdog	32
6 - 3 - 5 . Apci8011RefreshWatchdog	33
6 - 3 - 6 . Apci8011DisableWatchdog	34
6 - 3 - 7 . Apci8011GetLastError	35
6 - 4 .定義	36
6 - 4 - 1 . エラーコード	36
製品のお問い合わせについて	37
改訂履歴	38

1.はじめに

本マニュアルは、コンパクト PCI CPU ボード「aPCI-8011」を Windows2000/WindowsXP でご利用 いただくためのドライバのインストール手順および API 仕様などについて記述しています。 ハードウェアに関する詳細は、ハードウェアマニュアルを参照してください。

2. 動作環境

API は、Windows(R) 2000 および Windows(R) XP 上で、aPCI-8011 (以下「デバイス」)が有する ウォッチドッグタイマ(アプリケーションの暴走などによる処理異常を検出するための機能) を制御し ます。

ウォッチドックタイマを使用しない場合は、インストールの必要はありません。

	ウォッチドッグタイマとは
このタイマの特 とです。リセッ ることになりま	徴は、タイマがタイムアップするとハードウェアにリセットがかかるというこ トがかかると当然コンピュータは初期状態からのスタートになり再スタートす す。
これを図で説明	すると下図の様になります。
まず例 1 は単 このときには指 タにリセット信	純にウォッチドッグタイマをスタートさせただけの時です。 定した時間 (T) が経つとウォッチドッグタイマがタイムアップしコンピュー 号が出力され再スタートします。
	タイマスタートタイムアップによるリセット
例 1	\sim T
例2	
Apci8011Refi	reshWatchdog()の実行
このタイマの 時間以内に(タ してタイマのカ これが続いてい 有りません。	使い方は上図例2のように、タイマを最初スタートさせたら、あとは常に一定 イマがタイムアップする前に)タイマを Apci8011RefreshWatchdog()でクリア ウントを再スタートさせます。 る限りはタイマがタイムアップすることが無いので、リセットがかかることは

3.ファイル一覧



- 4.ドライバ
- 4 1 . Windows へのインストール
- 4 1 1 . Windows2000 へのインストール

本製品を Windows2000 上で使用するためには、ハードウェア・ウィザードによるインストールが必要 です。

以下の手順に従って登録を行ってください。

1.「Administrator」でログオンし、[スタート - 設定 - コントロールパネル]を実行してコントロール パネルを開いてください。開いたら[ハードウェアの追加と削除]アイコンをダブルクリックします。



2. [次へ]ボタンをクリックします。



3. [デバイスの追加/トラブルシューティング]を選択し、[次へ]ボタンをクリックします。

ハードウェアの追加と削除ウィザード
ハードウェアに関する作業の選択 ハードウェアに関してどの作業を行いますか?
ハードウェアに関して行う作業を選択して D欠へ] をクリックしてください。 ● デバイスの追加/トラブルシューティング(A) 新しいデバイスを追加する場合、またはデバイスが正常に動作していない場合は、このオプションを選
 <u>かしょう。 デバイスの削除/取り外し(U) デバイスを削除するか、またはデバイスを取り外せるようにコンピュータを準備するには、このオプションを 選択します。 </u>
< 戻る(B) 次へ(N) > キャンセル

4.[新しいデバイスの追加]を選択し、[次へ]ボタンをクリックします。

ハードウェアの追加と削除ウィザード	
ハードウェア デバイスの選択 どのハードウェア デバイスのトラブルシューティングを行いますか?	
次のハードウェアはこのコンピュータに既にインストールされています。デバイスに問題がある場合は、 そのデバイスを選択してから D欠へ] をクリックしてください。 追加しようとしているデバイスが一覧に表示されない場合は、[新しいデバイスの追加] を選択して から D欠へ] をクリックしてください。	
デバイス 新しいデバイスの追加 ACPI Fixed Feature ボタン フログラム可能割り込みコントローラ システム タイマ DMA コントローラ 図 DMA コントローラ 図 日本語 PS/2 キーボード (106/109 キー)	
< 戻る(<u>B</u>) 次へ(<u>N</u>) > キ	マンセル

5.[いいえ、一覧からハードウェアを選択します]を選択し、[次へ]ボタンをクリックします。

ハードウェアの追加と削除ウィザード
新しいハードウェアの検索 プラグ アンド プレイに対応していないハードウェアを検出します。
新しいハードウェアが検出されたときは、デバイスの現在の設定を確認してから正しいドライバをインストー ルします。
新しいハードウェアを検索しますか?
○ はい、新しいハードウェアを検索します(⊻) ⓒ <u>いいえ、一覧からハードウェアを選択します(O)</u>
< 戻る(B) 次へ(N) > キャンセル

6.[その他のデバイス]を選択し、[次へ]ボタンをクリックします。

ハードウェアの追加と削除ウィザード		
ハードウェアの種類 どの種類のハードウェアをインストールしますか?		
インストールするハードウェアの種類を選択してください ハードウェアの種類(<u>H</u>):	•	
◆ SCSIと RAID コントローラ → イメージング デバイス ◆ サウンド、ビデオ、およびゲーム コントローラ		A
 ■ システム テハイス ⑦ その他のデバイス ■ ディスプレイ アダプタ ■ テーブ ドライブ 		
■愛ネットワーク アダプタ		
	〈戻る(B) 次へ(N	1)> キャンセル

7.[ディスク使用]ボタンをクリックします。

ハードウェアの追加と削除ウィザード
デバイス ドライバの選択 このデバイスには、どのドライバをインストールしますか?
ハードウェア デバイスの製造元とモデルを選択して D次へ] をクリックしてください。インストールするドライバのディスクがある場合は、「ディスク使用] をクリックしてください。
製造元(M): モデル(D): (標準 IDE ATA/ATAPI コントローラ)▲ (標準システム デバイス) (標準ポート) (標準赤外線ポート) ・ ・
< 戻る(B) 次へ(N) > キャンセル

コピー元にドライバソフトの Win2000_XP ディレクトリを指定し、[OK]ボタンをクリックします。 ここでは「A:¥Win2000_XP」を指定しています。

フロッピー ディ	ィスクからインストール	×
_	製造元が配布するインストール ディスクを指定したドライブに挿入 して、[OK] をクリックしてください。	<u>OK</u> キャンセル
	製造元のファイルのコピー元(<u>C</u>): A¥Win2000_XP	参照(<u>B</u>)

8. 使用するデバイスを選択し、[次へ]ボタンをクリックします。

ハードウェアの追加と削除ウィザード			
デバイス ドライバの選択 このデバイスには、どのドライバをインストールしますか?			
ハードウェア デバイスの製造元とモデルを選択して ィスクがある場合は、「ディスク使用」をクリックしてく	[〕次へ] をクリックして ださい。	ください。インストー	-ルするドライバのデ
モデル(<u>D</u>): [<mark>aPCI-8011]</mark>			≓ /3 b/#⊞(U)
	< 戻る(<u>B</u>)	汰へ(№) >	キャンセル

9. [OK]ボタンをクリックします。



10.他のデバイスとリソースが競合しないか確認し、[OK]ボタンをクリックします。

新しいハードウェアの追加ウィ	ィザードのプロパティ		? ×
リソース			
~ 不明なデバー	(ス		
リソースの設定(B):			
リソースの種類 設定 ### 1/0 範囲 0300) - 0300		
・ 設定の登録名(B):	基本構成 0000		•
I	自動設定(U)	設定の	変更(<u>C</u>)
競合するデバイス:			
競合なし			×
		OK	キャンセル

11. [次へ]ボタンをクリックします。

ハードウェアの追加と削除ウィザード
ハードウェアのインストールの開始 新しいハードウェアのドライバをインストールする準備が整いました。
▲PCI-8011 既定の設定を使用して、このハードウェア デバイスのソフトウェアをインストールします。新しいハードウェア のソフトウェアをインストールするには D太へJ をクリックしてください。
< 戻る(8) (次へ)(1) シー・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・

12.[完了]ボタンをクリックします。

ハードウェアの追加と削除ウィザード	
	ハードウェアの追加と削除ウィザードの完了
)次のハードウェアがインストールされました: aPCI-8011
	新しいハードウェアを手動で構成する必要があるかどうかをハードウェア のマニュアルで確認してください。ハードウェアは、コンピュータを再起動す ると有効になります。
	このデバイスのリソースを表示または変更するには、 <u>リソース(E)</u> [リソース] をクリックしてください。 ウィザードを閉じるには、[完了] をクリックしてください。
	< 戻る(日) (二一) キャンセル

13. 再起動を促すメッセージが表示されますので、Windows2000を再起動します。

システム設定	〒の変更 🛛 🔀
?	新しい設定を有効にするには、コンピュータを再起動する必要があります。 今すぐ再起動しますか?
	<u>(ぽい())</u> いいえ(N)

ドライバを制御する DLL ファイルは自動的にコピーされませんので、お使いの環境に合わせて、ファイルをコピーしてください。

一般的には「アプリケーションと同じディレクトリ」か、Windows2000 では

「%WinDir%¥System32 (例 C:¥Winnt¥System32)」となります。

4 - 1 - 2 . WindowsXP へのインストール

本製品を WindowsXP 上で使用するためには、ハードウェア・ウィザードによるインストールが必要 です。 以下の手順に従って登録を行ってください。

1.「Administrator」でログオンし、[スタート - コントロールパネル]を実行してコントロールパネル を開いてください。開いたら[ハードウェアの追加]アイコンをダブルクリックします。



2. [次へ]ボタンをクリックします。



3.[はい、ハードウェアを接続しています]を選択し、[次へ]ボタンをクリックします。

ハードウェアの追加ウィザード	
ハードウェアは接続されていますか?	
既にこのハードウェアをコンピュータに接続していますか ● はい、ハードウェアを接続しています(Y) ● いいえ、ハードウェアを接続していません(№)	?
	< 戻る(B) 次へ(N) > キャンセル

4.[新しいハードウェアデバイスの追加]を選択し、[次へ]ボタンをクリックします。

ハードウェアの追加ウィザード		
次のハードウェアは既にコンピュータ上にインストールされています。		
下の一覧にある場合は、インストールされているハードウェア デバイスを選択してから、D欠へ] をクリックし てプロパティを確認するか、または今ある問題のトラブルシューティングを実行してください。 一覧にないハードウェアを追加するには、 [新しいハードウェア デバイスの追加] をクリックしてください。		
インストールされているハードウェア(N): Gentel(r) 82801 BA/BAM USB Universal Host Controller - 2442 Gentel(r) 82801 BA/BAM USB Universal Host Controller - 2444 Gentel(r) 82801 BA/BAM USB Universal Host Controller - 2444 Gentel(r) 8280 ルート ハブ Gentel(r) 5777 新していハードウェア デバイスの追加		
〈戻る(8) 〉次へ(N) 〉 キャンセル		

5.[一覧から選択したハードウェアをインストールする]を選択し、[次へ]ボタンをクリックします。

ハードウェアの追加ウィザード		
ウィザードで、ほかのハードウェアをインストールできます。		
このウィザードで、ほかのハードウェアを検索して自動的にインストールすることができます。または、インスト ールするハードウェアのモデルがわかっている場合は、一覧から選択することもできます。		
インストール方法を選んでください。 ハードウェアを検索して自動的にインストールする (推奨)(S) ・ ・ ・		
< 戻る(B) 次へ(N) > キャンセル		

6.[すべてのデバイスを表示]を選択し、[次へ]ボタンをクリックします。

ハードウェアの追加ウィザード		
次の一覧からインストールするハードウェアの種類を選択してください。		
希望するハードウェアのカテゴリが見つからない場合は、[すべてのデバイスを表示] をクリックしてください。 共通ハードウェアの種類(<u>H</u>):		
< 戻る(B) 次へ(N) > キャンセル		

7.[ディスク使用]ボタンをクリックします。



コピー元にドライバソフトの Win2000_XP ディレクトリを指定し、[OK]ボタンをクリックします。 ここでは「A:¥Win2000_XP」を指定しています。

70%2-	ディスクからインストール	
	製造元が配布するインストール ディスクを指定したドライブに挿入 して、下の正しいドライブが選択されていることを確認してください。	OK キャンセル
	製造元のファイルのコピー元(<u>C</u>): A:¥Win2000_XP	参照(<u>B</u>)

8. 使用するデバイスを選択し、[次へ]ボタンをクリックします。

ハードウェアの追加ウィザード		
このハードウェアのためにインストールするデバイス ドライバを選択してください。	E	
ハードウェア デバイスの製造元とモデルを選択して [次へ] をクリックしてください。インストールするドライ、 イスクがある場合は、[ディスク使用] をクリックしてください。	バのデ	
モデル aPCI-8011		
このドライバはデジタル署名されていません。 ディスク使用(ドライバの署名が重要な理由 ディスク使用(<u>(H)</u>	
< 戻る(B) 次へ(N) > キャンt	211	

9. [次へ]ボタンをクリックします。

ハードウェアの追加ウィザード	
ハードウェアをインストールする準備ができました。	
インストールするハードウェア:	
< 戻る(<u>B</u>) 次へ(<u>N</u>)> キャンセル	

10.[このハードウェアのリソースを表示または変更する]をクリックします。



11. [手動構成]ボタンをクリックします。

ハードウェアの追加ウィザードのプロパティ ? 🔀
ג-עו
aPCI-8011
リソースの設定(<u>R</u>): このデバイスにエラーがあるため、現在リソースを使用していません。
手動構成S)
OK キャンセル

12.他のデバイスとリソースが競合しないか確認し、[OK]ボタンをクリックします。

ハードウェアの追加ウィザードのフロパティ	? 🛛
ג-עו	
aPCI-8011	
リソースの設定(R):	
リソースの種類 設定	
🛄 I/O の範囲 0300 - 0300	
設定の登録名(目): 基本構成 0000	✓
□自動設定(型)	設定の変更()
競合するデバイス:	
競合なし	~
	~
	OK キャンセル

13.[完了]ボタンをクリックします。



14. 再起動を促すメッセージが表示されますので、WindowsXPをシャットダウンします。。



ドライバを制御する DLL ファイルは自動的にコピーされませんので、お使いの環境に合わせて、ファイルをコピーしてください。

一般的には「アプリケーションと同じディレクトリ」か、WindowsXP では

「%WinDir%¥System32 (例 C:¥Winnt¥System32)」となります。

4-2.アンインストール

4 - 2 - 1 . Windows2000 からのアンインストール

インストールによって確保されたリソースを以下の手順で解放し、ドライバをアンインストールするこ とができます。

1. [スタート - 設定 - コントロールパネル]を実行してコントロールパネルを開いてください。開いた ら[システム]アイコンをダブルクリックします。



2.[ハードウェア]タブの[デバイスマネージャ]ボタンをクリックします。

୬ステムのプロパティ · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·
全般 ネットワーク ID ハードウェア ユーザー プロファイル 詳細
ハードウェア ワイサードを使って、ハードウェアのインストール、アンインストー ル、削除、修復、取り外し、および設定ができます。
<u>ハードウェア ウィザード(H)</u>
-デバイス マネージャー
デバイス マネージャは、コンピュータにインストールされているすべてのハード ウェア デバイスを表示します。デバイス マネージャを使って、各デバイスのプ ロパティを変更できます。
ドライバの署名(S) デバイスマネージャロ)
- ハードウェア プロファイル
ハードウェア プロファイルを使うと、別のハードウェアの構成を設定し、格納 することができます。
<u>ハードウェア プロファイル(P)</u>
OK キャンセル 道用(合)

3. [aPCI-8011]上で右クリックし、[削除]を選択します。



4.[OK]ボタンをクリックします。

デバイスの削	除の確認	? ×
H	aPCI-8011	
警告: シス	テムからこのデバイスを削除しようとしています。	
	(OK	キャンセル

5.Windows2000を終了します。

4 - 2 - 2 . WindowsXP からのアンインストール

インストールによって確保されたリソースを以下の手順で解放し、ドライバをアンインストールするこ とができます。

1. [スタート - コントロールパネル]を実行してコントロールパネルを開いてください。開いたら[シス テム]アイコンをダブルクリックします。



2.[ハードウェア]タブの[デバイスマネージャ]ボタンをクリックします。

システムのプロパティ 🛛 🛛 🔀
全般 コンピュータ名 ハードウェア 詳細設定 システムの復元 自動更新 リモート
- ハードウェアの追加ウィザード デ ハードウェアの追加ウィザードを使うと、ハードウェアのインストールができま す。
ハードウェアの追加ウィザード(H)
デバイス マネージャ デバイス マネージャは、コンピュータにインストールされているすべてのハード ウェア デバイスを表示します。デバイス マネージャを使って、各デバイスのプ ロパティを変更できます。 ドライバの署名(S) デバイス マネージャ(D) ハードウェア プロファイル
ハードウェア プロファイルを使うと、別のハードウェアの構成を設定し、格納 することができます。
<u>אראליבע אראליבע אראליבע אראליבע אראליבע און אראליבע אראליבע און אראליבע און אראליבע און אראליבע און אראליבע א</u>
OK キャンセル 適用(A)

3. [aPCI-8011]上で右クリックし、[削除]を選択します。



4. [OK]ボタンをクリックします。

デバイスの	削除の確認 ? 🛛	3
	aPCI-8011	
警告: シス	テムからこのデバイスを削除しようとしています。	
	OK キャンセル	

5. WindowsXP を終了します。

5.サンプルソース

サンプルソースには、Visual C++ (Ver.4/5/6)版、Visual Basic (Ver.4(32bit)/5/6)版、 Delphi (Ver.2/3/4/5/6/7)版がございます。

DLL 内の関数のインターフェースは、各関数のヘッダ、注釈および「6.API 仕様」を参照してください。

< ラッパー関数 >

apci8011w.* のように「w」が付いているファイルには、DLL 内の関数を簡単にコールするための ラッパー(Wrapper)関数が定義されています(DLL のロード/アンロード関数も含まれています)。 デバイスの制御を開始する前には DLL ロード関数を、デバイスの制御を終了する際には DLL アン ロード関数をコールしてください。

サンプルソースは各開発環境にて実行してお試しいただけます。 詳しくは各ディレクトリ内の buildxx.txt の例をご覧ください。

サンプルソースのご利用については、各開発環境および OS・言語に対する充分な理解を前提としております。よって、これらそのものの使用方法に関するお問い合わせには一切お答えいたしかねますので、あらかじめご了承ください。

6.API 仕様

6 - 1 . 概要

本章では、aPCI-8011 用ユーザ公開 API を定義します。 デバイスドライバの詳細については触れていません。

6-2.プログラム構成

本章で定義される API は、apci8011.sys (デバイスドライバ)および apci8011.dll (ダイナミックリン クライブラリ)により実現されます。

- 6 3 . API リファレンス
- 6 3 1 . Apci8011Create
 - 機 能 デバイスの使用を宣言
 - 形式 Visual C++ BOOL Apci8011Create(void);
 - 形 式 Visual Basic Function Apci8011Create() As Long
 - 形式 Delphi function Apci8011Create(): BOOL;
 - 戻り値 API が正常終了したか、失敗したかを返します。 FALSE 失敗。 TRUE 正常終了。
 - 解 説 アプリケーションが使用することをドライバに通知します。他の API を呼び出す前に必ずこの API を呼び出してください。

- 6 3 2 . Apci8011Close 機 能 デバイスの開放
 - 形式 Visual C++ BOOL Apci8011Close(void);
 - 形 式 Visual Basic Function Apci8011Close() As Long
 - 形 式 Delphi function Apci8011Close(): BOOL;
 - 戻り値 API が正常終了したか、失敗したかを返します。 FALSE 失敗。 TRUE 正常終了。
 - 解 説 デバイスを他のアプリケーションに開放することをドライバに通知します。 アプリケーションを終了する前に必ずこの API を呼び出してください。

6 - 3 - 3 . Apci8011GetVersion 機 能 バージョン情報取得 形 式 Visual C++ BOOL Apci8011GetVersion (PDWORD pdwDllVer, PDWORD pdwDrvVer); 形 式 Visual Basic Function Apci8011GetVersion (pdwDllVer As Long, pdwDrvVer As Long) As Long 形 式 Delphi function Apci8011GetVersion (var pdwDllVer: DWORD; var pdwDrvVer: DWORD): Boolean; 入力 pdwDllVer DLL のバージョン情報を格納する領域へのポインタ。 NULL 可。 pdwDrvVer DRIVER のバージョン情報を格納する領域へのポインタ。 NULL 可。 出力 *pdwDllVer DLL のバージョン情報。 *pdwDrvVer DRIVER のバージョン情報。 戻り値 API が正常終了したか、失敗したかを返します。 FALSE 失敗。 TRUE 正常終了。 説 DLL と DRIVER のバージョン情報を取得します。 解 それぞれのバージョンは4桁で表現されます。

初回リリースは 0.1.0.0 とし、0x00010000 となります。 最大値は 255.255.255.255 となり、0xffffffff となります。 6 - 3 - 4 . Apci8011EnableWatchdog 機 能 ウォッチドックタイマを動作するようにします 形 式 Visual C++ BOOL Apci8011EnableWatchdog (DWORD dwTime); 形 式 Visual Basic Function Apci8011EnableWatchdog (ByVal dwTime as Long) As Long 形 式 Delphi function Apci8011EnableWatchdog (dwTime: DWORD): BOOL; 入力 dwTime タイムアウト値を設定します。 0:1秒に設定 1:2秒に設定 2:4秒に設定 3:8秒に設定 4:16秒に設定 5:32 秒に設定 6:64秒に設定 7:128秒に設定 戻り値 API が正常終了したか、失敗したかを返します。 FALSE 失敗。 TRUE 正常終了。 解説デバイスのウォッチドックタイマを動作するようにします。

- 6 3 5 . Apci8011RefreshWatchdog
 - 機 能 ウォッチドックタイマを再設定します
 - 形 式 Visual C++ BOOL Apci8011RefreshWatchdog(void)
 - 形 式 Visual Basic Function Apci8011RefreshWatchdog()As Long
 - 形 式 Delphi function Apci8011RefreshWatchdog(): BOOL;
 - 戻り値 API が正常終了したか、失敗したかを返します。 FALSE 失敗。 TRUE 正常終了。
 - 解説デバイスのウォッチドックタイマを再設定します。

- 6 3 6 . Apci8011DisableWatchdog
 - 機 能 サンプリングを開始します。
 - 形式 Visual C++ BOOL Apci8011DisableWatchdog(void);
 - 形 式 Visual Basic Function Apci8011DisableWatchdog() As Long
 - 形式 Delphi function Apci8011DisableWatchdog(): BOOL;
 - 戻り値 API が正常終了したか、失敗したかを返します。 FALSE 失敗。 TRUE 正常終了。
 - 解 説 デバイスのウォッチドックタイマを動作しないようにします。

6 - 3 - 7 . Apci8011GetLastError

- 機 能 エラーコード取得
- 形 式 Visual C++ DWORD Apci8011GetLastError(void);
- 形 式 Visual Basic Function Apci8011GetLastError()As Long
- 形 式 Delphi function Apci8011GetLastError(): DWORD;

戻り値 エラーコード

このデバイスのもっとも最近起こったエラーのコードを取得します。 デバイスに依存しないエラーを取得します。

6-4. 定義

6 - 4 - 1 . エラーコード

#define APCI8011_SUCCESS
#define APCI8011_ERR_NO_DEVICE
#define APCI8011_ERR_RESOURCE
#define APCI8011_ERR_INVALID_ARG
#define APCI8011_ERR_SLOT

#define APCI8011_ERR_TIME

#define APCI8011_ERR_NOT_CREATED #define APCI8011_ERR_INVALID_FUNC #define APCI8011_DISABLE_WDT

#define APCI8011_ERR_INVALID_SLOT
#define APCI8011_ERR_IN_USE
#define APCI8011_ERR_INTERNAL
#define APCI8011_ERR_SYSTEM

- 0 // 正常終了
- $1 \quad /\!/$ No device or not an aPCI-8011
- 2 // Resource exhaustion
- 3 // Invalid argument(s)
- 4 // 論理スロット番号が不正です (または見つかりません)
- 5 //ウォッチドックタイマのタイムアウト値が 不正です
- 6 // デバイスがクリエイトされていません
- 7 //無効な関数呼び出しです
- // ウォッチドックタイマが無効な状態です (無効な関数呼び出しです)
- 9 // Invalid slot(s)
- 10 // デバイス使用中です(NT)
- 11 // システムエラー
- 12 // システムエラー

APCI8011_SUCCESS は、初期時に初期化される値です。 以降エラーが起こった場合はエラー内容が更新されるまでそのエラー値を保持します。 製品のお問い合わせについて

お買い求めいただいた製品に対する次のようなお問い合わせは、お求めの販売店又は**株式会社** アドテックシステムサイエンスの各営業所にご連絡ください。

- ・ お求めの製品にご不審な点や万一欠品があったとき
- ・ 製品の修理
- ・ 製品の補充品や関連商品について
- ・ 本製品を使用した特注製品についてのご相談

技術サポート 技術的な内容のお問い合わせは、「ファックス」「郵送」「E-mail」のいず れかにて、下記までお問い合わせください。また、お問い合わせの際は、内容をできるだけ詳 しく具体的にお書きくださるようお願いいたします。

技術的な内容のお問い合わせ先

株式会社 アドテック システム サイエンス テクニカルサポート 〒240-0005 神奈川県横浜市保土ヶ谷区神戸町 134 YBP ウエストタワー 8F E-mail support@adtek.co.jp Fax 045-331-7770

改訂履歴

発行年月日 2004年06月22日 第1版

発行年月日 2004 年 11 月 04 日 改訂第 2 版 ・所在地変更

aPCI-8011 ソフトウェアマニュアル

第2版発行 2004年11月04日 発行所 株式会社 アドテック システム サイエンス 〒240-0005 神奈川県横浜市保土ヶ谷区神戸町134 YBP ウエストタワー 8F Tel 045-331-7575 代) Fax 045-331-7770

不許複製

CPCI-069-041104 © 2004 ADTEK SYSTEM SCIENCE Co.,Ltd.